

自己資本の充実の状況（単体・自己資本の構成に関する開示事項）

北九州銀行（単体）

（単位：百万円、％）

項目	2020年度中間期	2019年度中間期
コア資本に係る基礎項目（1）		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	83,542	80,930
うち、資本金及び資本剰余金の額	10,000	10,000
うち、利益剰余金の額	74,094	71,993
うち、自己株式の額（△）	-	-
うち、社外流出予定額（△）	552	1,062
うち、上記以外に該当するものの額	-	-
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	-	-
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	384	1
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1	1
うち、適格引当金コア資本算入額	383	-
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	2,020	2,525
コア資本に係る基礎項目の額	(イ) 85,947	83,458
コア資本に係る調整項目（2）		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	656	681
うち、のれんに係るものの額	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	656	681
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-
適格引当金不足額	-	544
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-
前払年金費用の額	575	583
自己保有普通株式等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-
コア資本に係る調整項目の額	(ロ) 1,231	1,809
自己資本		
自己資本の額（(イ) - (ロ)）	(ハ) 84,715	81,649
リスク・アセット等（3）		
信用リスク・アセットの額の合計額	664,215	643,162
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	2,061	3,169
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-	-
うち、上記以外に該当するものの額	2,061	3,169
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	-	-
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	20,473	20,249
信用リスク・アセット調整額	84,161	77,068
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-	-
リスク・アセット等の額の合計額	(ニ) 768,850	740,479
自己資本比率		
自己資本比率（(ハ) / (ニ)）	11.01	11.02

（注）自己資本比率の算出方法については、内部格付手法を採用しております。

自己資本の充実の状況 (単体・定量的情報)

1. 自己資本の充実に関する事項

(1) 信用リスクに対する所要自己資本の額 (第10条第4項第1号イ・ロ・ハ)

(単位: 百万円)

項 目	2019年度中間期	2020年度中間期
標準的手法が適用されるポートフォリオ (A)	53	47
内部格付手法の適用除外資産	53	47
内部格付手法の段階的適用資産	—	—
調整項目に相当するエクスポージャー	—	—
内部格付手法が適用されるポートフォリオ (B)	62,930	64,468
事業法人等向けエクスポージャー	55,290	56,703
事業法人向けエクスポージャー (特定貸付債権を除く)	53,063	53,245
特定貸付債権	729	1,022
ソブリン向けエクスポージャー	577	1,240
金融機関等向けエクスポージャー	919	1,194
リテール向けエクスポージャー	3,424	3,560
居住用不動産向けエクスポージャー	2,324	2,457
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	156	130
その他リテール向けエクスポージャー	943	971
証券化エクスポージャー	8	18
うち再証券化エクスポージャー	—	—
株式等エクスポージャー	1,013	911
マーケット・ベース方式	0	0
簡易手法	0	0
内部モデル手法	—	—
PD/LGD方式	1,013	911
リスク・ウェイトのみなし計算または信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャー	183	147
自己資本比率告示第167条第2項の規定により 信用リスク・アセットの額を算出するエクスポージャー	28	40
自己資本比率告示第167条第7項の規定により 信用リスク・アセットの額を算出するエクスポージャー	154	107
自己資本比率告示第167条第10項第1号に定めるリスク・ウェイトを用いて 信用リスク・アセットの額を算出するエクスポージャー	—	—
自己資本比率告示第167条第10項第2号に定めるリスク・ウェイトを用いて 信用リスク・アセットの額を算出するエクスポージャー	—	—
自己資本比率告示第167条第11項の規定により 信用リスク・アセットの額を算出するエクスポージャー	—	—
購入債権	—	—
購入事業法人等向けエクスポージャー	—	—
購入リテール向けエクスポージャー	—	—
その他資産等	1,563	1,540
CVAリスク	72	163
中央清算機関関連エクスポージャー	—	—
リスク・ウェイト100%を適用するエクスポージャー	101	98
リスク・ウェイト250%を適用するエクスポージャー	109	190
他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置により リスク・アセットの額に算入されなかったものの額 (△)	—	—
リスク・ウェイト1250%を適用するエクスポージャー	—	—
調整項目に相当するエクスポージャー	1,163	1,133
信用リスクに対する所要自己資本の額 (A) + (B)	62,983	64,515

(注) 1. 所要自己資本の額は、スケールリング・ファクター (乗数1.06) 調整後の信用リスク・アセットの額×8%+期待損失額+調整項目に相当するエクスポージャーの額により算出しております。

2. 事業法人向けエクスポージャーには、中堅中小企業向けエクスポージャーを含んでおります。

(2) マーケット・リスクに対する所要自己資本の額 (第10条第4項第1号二)

自己資本比率告示第16条「マーケット・リスク相当額の不算入の特例」を適用しているため算出しておりません。

(3) オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額 (第10条第4項第1号ホ)

(単位: 百万円)

項 目	2019年度中間期	2020年度中間期
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	809	818
基礎的手法	—	—
粗利益配分手法	809	818
先進的計測手法	—	—

(注) オペレーショナル・リスクの算出には粗利益配分手法を採用しております。

(4) 単体総所要自己資本額 (第10条第4項第1号ハ)

(単位: 百万円)

項 目	2019年度中間期	2020年度中間期
単体総所要自己資本額	59,238	61,508

2. 信用リスクに関する事項

(1) 信用リスクに関するエクスポージャーの中間期末残高及びデフォルトしたエクスポージャーの中間期末残高 (第10条第4項第2号イ・ロ・ハ)

(単位：百万円)

手法別	2019年度中間期					デフォルトした エクスポージャー	2020年度中間期					デフォルトした エクスポージャー
	信用リスク・エクスポージャー						信用リスク・エクスポージャー					
	貸出金等	債券	デリバティブ	その他		貸出金等	債券	デリバティブ	その他			
標準的手法適用分	924	-	-	-	924	-	847	-	-	-	847	
内部格付手法適用分	1,346,288	1,226,157	12,906	2,604	104,620	16,604	1,443,534	1,297,074	16,365	3,052	127,042	16,154
手法別計	1,347,213	1,226,157	12,906	2,604	105,545	16,604	1,444,381	1,297,074	16,365	3,052	127,889	16,154

(単位：百万円)

地域別 業種別 残存期間別	2019年度中間期					デフォルトした エクスポージャー	2020年度中間期					デフォルトした エクスポージャー
	信用リスク・エクスポージャー						信用リスク・エクスポージャー					
	貸出金等	債券	デリバティブ	その他		貸出金等	債券	デリバティブ	その他			
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	1,048,153	1,046,861	-	1,292	-	13,631	1,104,964	1,103,408	-	1,556	13,839	
その他の国内	167,146	152,938	12,906	1,301	-	2,972	188,126	170,266	16,365	1,495	2,314	
国内計	1,215,300	1,199,799	12,906	2,594	-	16,604	1,293,091	1,273,674	16,365	3,051	16,154	
国外計	26,367	26,357	-	10	-	-	23,400	23,399	-	1	-	
地域別計	1,347,213	1,226,157	12,906	2,604	105,545	16,604	1,444,381	1,297,074	16,365	3,052	127,889	16,154
製造業	110,610	109,991	458	160	-	3,458	116,293	115,258	873	162	2,406	
農・林業	728	728	-	-	-	-	736	736	-	-	-	
漁業	1,219	1,219	-	-	-	98	1,344	1,344	-	-	35	
鉱業	2,656	2,656	-	-	-	-	2,944	2,944	-	-	237	
建設業	44,444	44,405	39	-	-	715	50,178	49,806	372	-	505	
電気・ガス・熱供給・水道業	48,475	48,475	-	-	-	265	55,006	54,947	-	58	254	
情報通信業	2,953	2,953	-	-	-	15	3,225	3,225	-	-	5	
運輸業	98,768	96,178	2,468	121	-	1,492	98,950	95,966	2,682	301	1,528	
卸・小売業	170,391	168,899	185	1,306	-	3,440	170,371	168,625	375	1,371	4,077	
金融・保険業	50,622	48,353	1,252	1,016	-	-	54,797	52,296	1,340	1,159	-	
不動産業	206,675	206,675	-	-	-	1,923	212,958	212,467	490	-	2,751	
各種サービス業	152,748	152,618	130	-	-	4,300	172,045	171,815	230	-	3,536	
国・地方公共団体	120,637	112,266	8,371	-	-	-	144,135	134,135	10,000	-	-	
個人	230,735	230,735	-	-	-	893	233,503	233,503	-	-	814	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
業種別計	1,347,213	1,226,157	12,906	2,604	105,545	16,604	1,444,381	1,297,074	16,365	3,052	127,889	16,154
1年以下	298,441	297,394	563	483	-	-	289,264	286,443	2,116	705	-	
1年超3年以下	71,238	67,019	2,932	1,286	-	-	71,489	68,034	2,151	1,302	-	
3年超5年以下	96,864	93,246	3,011	605	-	-	133,434	127,642	5,281	509	-	
5年超7年以下	95,153	92,930	2,083	139	-	-	89,654	87,430	2,100	123	-	
7年超10年以下	130,058	127,469	2,499	89	-	-	168,589	165,643	2,900	45	-	
10年超	494,424	492,610	1,814	-	-	-	513,366	511,187	1,814	364	-	
期間の定めのないもの	55,486	55,486	-	-	-	-	50,692	50,692	-	-	-	
残存期間別計	1,347,213	1,226,157	12,906	2,604	105,545	16,604	1,444,381	1,297,074	16,365	3,052	127,889	16,154

- (注) 1. 信用リスク・エクスポージャーには、株式等エクスポージャー、証券化エクスポージャー及びリスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーを含んでおりません。
 2. 「貸出金等」には、貸出金、支払承諾、コールローン、コミットメント等を計上しております。
 3. 「その他」には、現金、預け金、有形固定資産、有価証券の貸付、現金若しくは有価証券による担保の提供又は有価証券の買戻条件付売却若しくは売戻条件付購入等を計上しております。
 4. 「デフォルトしたエクスポージャー」には、内部格付手法を適用したエクスポージャーのうち、信用リスク・アセットの額を算出する際にデフォルトと判定されたものの中間期末残高を計上しております。
 5. 本部において管理している国債等の国内債券については、「地域別」では「その他の国内」に含めております。

(2) 一般貸倒引当金、個別貸倒引当金、及び特定海外債権引当勘定の中間期末残高及び期中増減額 (第10条第4項第2号二)

(単位：百万円)

項目	2019年度中間期			2020年度中間期		
	期首残高	期中増減額	中間期末残高	期首残高	期中増減額	中間期末残高
一般貸倒引当金	1,698	167	1,865	1,674	214	1,888
個別貸倒引当金	7,695	170	7,865	7,763	888	8,651
特定海外債権引当勘定	-	-	-	-	-	-
合計	9,393	338	9,731	9,437	1,102	10,539

(個別貸倒引当金の地域別、業種別内訳)

(単位：百万円)

項目	2019年度中間期			2020年度中間期		
	期首残高	期中増減額	中間期末残高	期首残高	期中増減額	中間期末残高
山口県	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-
福岡県	6,174	100	6,274	6,351	820	7,172
その他の国内	1,520	70	1,591	1,411	67	1,479
国内計	7,695	170	7,865	7,763	888	8,651
国外計	-	-	-	-	-	-
地域別計	7,695	170	7,865	7,763	888	8,651
製造業	1,844	33	1,878	1,720	△27	1,693
農・林業	-	-	-	-	-	-
漁業	35	-	35	35	-	35
鉱業	-	-	-	-	192	192
建設業	321	3	325	336	△26	309
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	179	-	179
情報通信業	1	△0	1	-	-	-
運輸業	1,144	10	1,154	1,152	△5	1,147
卸・小売業	1,902	106	2,008	1,844	265	2,110
金融・保険業	-	-	-	-	-	-
不動産業	1,032	40	1,072	1,131	388	1,520
各種サービス業	1,154	△18	1,136	1,045	242	1,287
国・地方公共団体	-	-	-	-	-	-
個人	256	△4	251	316	△140	175
その他	-	-	-	-	-	-
業種別計	7,695	170	7,865	7,763	888	8,651

(3) 業種別の貸出金償却の額 (第2条第4項第2号ホ)

(単位：百万円)

業種	2019年度中間期	2020年度中間期
製造業	-	-
農・林業	-	-
漁業	-	-
鉱業	-	-
建設業	-	1
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-
情報通信業	-	-
運輸業	-	-
卸・小売業	8	9
金融・保険業	-	-
不動産業	-	-
各種サービス業	-	7
国・地方公共団体	-	-
個人	-	-
その他	-	-
業種別計	8	18

(注) 貸出金償却実績は、直接償却実施額を記載しております。

(4) 標準的手法が適用されるエクスポージャーの信用リスク削減手法勘案後のリスク・ウェイト区分別残高並びに1250%のリスク・ウェイトが適用されるエクスポージャーの額 (第10条第4項第2号ヘ)

(単位：百万円)

リスク・ウェイト	2019年度中間期		2020年度中間期	
	格付あり	格付なし	格付あり	格付なし
0%	-	262	-	248
10%	-	-	-	-
20%	-	-	-	-
30%	-	-	-	-
35%	-	-	-	-
40%	-	-	-	-
50%	-	-	-	-
70%	-	-	-	-
75%	-	-	-	-
90%	-	-	-	-
100%	-	662	-	598
110%	-	-	-	-
120%	-	-	-	-
150%	-	-	-	-
200%	-	-	-	-
250%	-	-	-	-
350%	-	-	-	-
1250%	-	-	-	-
合計	-	924	-	847

(注) 1. 格付の有無は、リスク・ウェイトの判定における格付使用の有無を指します。
2. 格付は適格格付機関が付与しているものに限定して使用しております。

(5) スロッシング・クライテリアに割り当てられた特定貸付債権及びマーケット・ベース方式の簡易手法が適用される株式等エクスポージャーについて、自己資本比率告示第153条第3項及び第5項並びに第166条第4項に定めるリスク・ウェイトが適用される場合におけるリスク・ウェイトの区分ごとの残高 (第10条第4項第2号ト)

① プロジェクト・ファイナンス、オブジェクト・ファイナンス、コモディティ・ファイナンス及び事業用不動産向け貸付 (単位：百万円)

スロッシング・クライテリア	残存期間	リスク・ウェイト	2019年度中間期	2020年度中間期
優	2年半未満	50%	56	-
	2年半以上	70%	2,457	2,321
良	2年半未満	70%	1,467	3,848
	2年半以上	90%	5,677	7,486
可	-	115%	-	-
弱い	-	250%	-	-
デフォルト	-	0%	-	-
合計			9,659	13,657

② ボラティリティの高い事業用不動産向け貸付 (単位：百万円)

スロッシング・クライテリア	残存期間	リスク・ウェイト	2019年度中間期	2020年度中間期
優	2年半未満	70%	-	-
	2年半以上	95%	-	-
良	2年半未満	95%	-	-
	2年半以上	120%	-	-
可	-	140%	-	-
弱い	-	250%	-	-
デフォルト	-	0%	-	-
合計			-	-

③ マーケット・ベース方式の簡易手法が適用される株式等エクスポージャー (単位：百万円)

種別	リスク・ウェイト	2019年度中間期	2020年度中間期
上場株式	300%	-	-
非上場株式	400%	0	0
合計		0	0

(注) 1. 「スロッシング・クライテリア」とは、特定貸付債権の信用リスク・アセットの額を算出するために設定されている5段階(優・良・可・弱い・デフォルト)の基準です。
2. 「マーケット・ベース方式の簡易手法」とは、株式等エクスポージャーの額に、上場株式については300%、非上場株式については400%のリスク・ウェイトを乗じた額をもって信用リスク・アセットの額を算出する方式です。

(6) 内部格付手法が適用されるポートフォリオに関する事項 (第10条第4項第2号)

①事業法人向けエクスポージャー、ソブリン向けエクスポージャー及び金融機関等向けエクスポージャーの債務者格付ごとのPDの推計値、LGDの推計値の加重平均値、リスク・ウエイトの加重平均値、オン・バランス資産項目のEADの推計値及びオフ・バランス資産項目のEADの推計値

(単位：百万円)

資産区分		2019年度中間期				
債務者区分	債務者格付	PDの推計値 (加重平均値)	LGDの推計値 (加重平均値)	リスク・ウエイト (加重平均値)	EADの推計値	
					オン・バランス資産項目	オフ・バランス資産項目
事業法人向けエクスポージャー		2.59%	42.22%	66.44%	811,506	12,874
正常先	11~13	0.13%	43.74%	34.45%	171,777	6,506
	14~16	0.41%	42.17%	61.49%	437,407	4,352
要注意先	21~23	3.01%	40.76%	112.56%	188,731	2,011
要管理先以下	24~51	100.00%	44.26%	-	13,590	3
ソブリン向けエクスポージャー		0.00%	45.00%	3.00%	211,896	25,048
正常先	11~13	0.00%	45.00%	2.97%	211,781	25,048
	14~16	0.64%	45.00%	68.65%	114	-
要注意先	21~23	-	-	-	-	-
要管理先以下	24~51	-	-	-	-	-
金融機関等向けエクスポージャー		0.07%	45.00%	41.50%	26,382	1,016
正常先	11~13	0.06%	45.00%	42.91%	23,409	1,016
	14~16	0.18%	45.00%	29.90%	2,972	-
要注意先	21~23	-	-	-	-	-
要管理先以下	24~51	-	-	-	-	-

(単位：百万円)

資産区分		2020年度中間期				
債務者区分	債務者格付	PDの推計値 (加重平均値)	LGDの推計値 (加重平均値)	リスク・ウエイト (加重平均値)	EADの推計値	
					オン・バランス資産項目	オフ・バランス資産項目
事業法人向けエクスポージャー		2.52%	42.24%	66.18%	821,346	12,723
正常先	11~13	0.12%	43.84%	36.86%	176,372	5,339
	14~16	0.39%	42.15%	60.66%	442,458	5,055
要注意先	21~23	3.06%	40.79%	111.44%	189,278	2,325
要管理先以下	24~51	100.00%	44.06%	-	13,237	3
ソブリン向けエクスポージャー		0.00%	45.00%	4.99%	294,720	13,205
正常先	11~13	0.00%	45.00%	4.96%	294,608	13,205
	14~16	0.64%	45.00%	68.29%	110	-
要注意先	21~23	1.76%	45.00%	151.42%	2	-
要管理先以下	24~51	-	-	-	-	-
金融機関等向けエクスポージャー		0.07%	45.00%	41.35%	34,607	1,159
正常先	11~13	0.06%	45.00%	41.89%	33,054	1,159
	14~16	0.17%	45.00%	29.35%	1,552	-
要注意先	21~23	-	-	-	-	-
要管理先以下	24~51	-	-	-	-	-

(注) 1. 信用リスク削減手法を用いた場合は、これを反映しております。

2. リスク・ウエイト (加重平均値) は、スケーリング・ファクター (乗数1.06) を乗じた後の信用リスク・アセットの額をEADで除して算出しております。

3. 事業法人向けエクスポージャーには、中堅中小企業向けエクスポージャーを含んでおりますが、特定貸付債権を含んでおりません。

②PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャーの債務者格付ごとのPDの推計値、リスク・ウエイトの加重平均値及び残高

(単位：百万円)

資産区分		2019年度中間期			
債務者区分	債務者格付	PDの推計値 (加重平均値)	LGD (加重平均値)	リスク・ウエイト (加重平均値)	残高
PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー		0.13%	90.00%	125.77%	10,077
正常先	11~13	0.10%	90.00%	118.82%	9,508
	14~16	0.38%	90.00%	216.52%	438
要注意先	21~23	1.81%	90.00%	328.01%	130
要管理先以下	24~51	-	-	-	-

(単位：百万円)

資産区分		2020年度中間期			
債務者区分	債務者格付	PDの推計値 (加重平均値)	LGD (加重平均値)	リスク・ウエイト (加重平均値)	残高
PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー		0.13%	90.00%	120.60%	9,447
正常先	11~13	0.09%	90.00%	112.23%	8,797
	14~16	0.31%	90.00%	196.87%	501
要注意先	21~23	2.18%	90.00%	358.37%	149
要管理先以下	24~51	-	-	-	-

(注) 1. PD/LGD方式とは、株式等エクスポージャーを事業法人等向けエクスポージャーとみなして信用リスク・アセットの額を算出する方式です。

2. リスク・ウエイト (加重平均値) は、スケーリング・ファクター (乗数1.06) を乗じた後の信用リスク・アセットの額をEADで除して算出しております。

③居住用不動産向けエクスポージャー、適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー及びその他リテール向けエクスポージャーのプール単位でのPDの推計値、LGDの推計値（デフォルトしたエクスポージャーに係るELdefaultを含む）の加重平均値、リスク・ウエイトの加重平均値、オン・バランス資産項目のEADの推計値、オフ・バランス資産項目のEADの推計値、コミットメントの未引出額及び当該未引出額に乗ずる掛目の推計値の加重平均値

(単位：百万円)

資産区分	2019年度中間期								
	プール区分	PDの推計値 (加重平均値)	LGDの推計値 (加重平均値)	ELdefaultの推計値 (加重平均値)	リスク・ウエイト (加重平均値)	EADの推計値		コミットメント	
						オン・バランス 資産項目	オフ・バランス 資産項目	未引出額	掛目の推計値 (加重平均値)
居住用不動産向けエクスポージャー	0.81%	19.67%	—	15.01%	151,546	—	—	—	—
非延滞	0.44%	19.49%	—	14.55%	150,357	—	—	—	—
延滞	17.74%	19.58%	—	113.78%	759	—	—	—	—
デフォルト	100.00%	81.10%	81.10%	—	429	—	—	—	—
適格リボルビング型リテール向け エクスポージャー	2.88%	86.08%	—	33.85%	1,045	1,904	4,449	42.80%	—
非延滞	1.29%	85.96%	—	33.42%	992	1,902	4,444	42.82%	—
延滞	36.73%	85.96%	—	278.84%	10	0	2	15.65%	—
デフォルト	100.00%	94.12%	94.12%	—	42	1	2	44.63%	—
その他リテール向けエクスポージャー (事業性)	6.27%	27.00%	—	29.42%	7,615	119	119	100.00%	—
非延滞	3.38%	25.58%	—	30.15%	7,366	119	118	100.00%	—
延滞	42.92%	21.93%	—	61.67%	29	0	0	100.00%	—
デフォルト	100.00%	76.24%	76.24%	—	219	0	0	100.00%	—
その他リテール向けエクスポージャー (非事業性)	1.88%	64.77%	—	55.84%	9,010	54	71	100.00%	—
非延滞	1.12%	64.43%	—	53.82%	8,824	54	71	100.00%	—
延滞	22.53%	78.19%	—	190.34%	149	—	—	—	—
デフォルト	100.00%	91.73%	91.73%	—	36	0	0	100.00%	—

(単位：百万円)

資産区分	2020年度中間期								
	プール区分	PDの推計値 (加重平均値)	LGDの推計値 (加重平均値)	ELdefaultの推計値 (加重平均値)	リスク・ウエイト (加重平均値)	EADの推計値		コミットメント	
						オン・バランス 資産項目	オフ・バランス 資産項目	未引出額	掛目の推計値 (加重平均値)
居住用不動産向けエクスポージャー	0.82%	19.50%	—	14.97%	159,439	—	—	—	—
非延滞	0.44%	19.31%	—	14.53%	158,164	—	—	—	—
延滞	17.41%	19.33%	—	111.78%	797	—	—	—	—
デフォルト	100.00%	80.43%	80.43%	—	477	—	—	—	—
適格リボルビング型リテール向け エクスポージャー	2.53%	85.62%	—	31.01%	901	1,830	4,458	41.04%	—
非延滞	1.18%	85.47%	—	30.85%	861	1,828	4,455	41.04%	—
延滞	36.23%	85.47%	—	277.01%	6	0	0	40.27%	—
デフォルト	100.00%	96.53%	96.53%	—	34	1	2	44.95%	—
その他リテール向けエクスポージャー (事業性)	4.45%	21.67%	—	22.29%	9,201	235	235	100.00%	—
非延滞	2.61%	20.65%	—	22.68%	9,017	235	235	100.00%	—
延滞	43.07%	21.24%	—	59.73%	8	—	—	—	—
デフォルト	100.00%	75.72%	75.72%	—	174	0	0	100.00%	—
その他リテール向けエクスポージャー (非事業性)	2.30%	66.27%	—	63.76%	9,100	77	77	100.00%	—
非延滞	1.29%	66.07%	—	61.28%	8,832	76	76	100.00%	—
延滞	24.37%	70.20%	—	172.29%	227	—	—	—	—
デフォルト	100.00%	88.86%	88.86%	—	40	0	0	100.00%	—

(注) 1. 信用リスク削減手法を用いた場合は、これを反映しております。

2. リスク・ウエイト (加重平均値) は、スケーリング・ファクター (乗数1.06) を乗じた後の信用リスク・アセットの額をEADで除して算出しております。

3. コミットメントの掛目の推計値 (加重平均値) は、コミットメントのEADの推計値を未引出額で除算した逆算値を計上しております。

(7) 内部格付手法を適用する事業法人向けエクスポージャー、ソブリン向けエクスポージャー、金融機関等向けエクスポージャー、PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー、居住用不動産向けエクスポージャー、適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー及びその他リテール向けエクスポージャーごとの直近期中における損失の実績値及び当該実績値と過去の実績値との対比並びに要因分析(第10条第4項第2号リ)

(単位: 百万円)

資産区分	2019年度中間期		対 比 (b-a)
	a.損失の実績値	b.損失の実績値	
事業法人向けエクスポージャー	7,878	8,610	732
ソブリン向けエクスポージャー	-	-	-
金融機関等向けエクスポージャー	-	-	-
居住用不動産向けエクスポージャー	0	0	0
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	0	0	0
その他リテール向けエクスポージャー	113	119	6
PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー	-	-	-
合 計	7,993	8,732	738

(要因分析)

事業法人向けエクスポージャー及びその他リテール向けエクスポージャーの損失の実績値は、個別貸倒引当金の増加を主因として前年同期を上回りました。居住用不動産向けエクスポージャー及び適格リボルビング型リテール向けエクスポージャーの損失の実績値は、前年同期に概ね横這いとなりました。

- (注) 1. 損失の実績値は、個別貸倒引当金、要管理先に対する一般貸倒引当金、直接償却、部分直接償却及び債権売却損等であります。なお、個別貸倒引当金及び要管理先に対する一般貸倒引当金は中間期末残高を、直接償却、部分直接償却及び債権売却損等は期中に実施した合計額を計上しております。
2. PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャーの損失の実績値には、デフォルトの定義に該当するものとなった先に関する損失の実績を計上しており、価格変動リスクの実現のみによる売却損や償却等は含んでおりません。

(8) 内部格付手法を適用する事業法人向けエクスポージャー、ソブリン向けエクスポージャー、金融機関等向けエクスポージャー、PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー、居住用不動産向けエクスポージャー、適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー及びその他リテール向けエクスポージャーごとの長期にわたる損失額の推計値と実績値の対比(第10条第4項第2号ヌ)

(単位: 百万円)

資産区分	2019年度		
	a.損失額の推計値 (期初)	b.損失額の実績値 (期末)	対 比 (a-b)
事業法人向けエクスポージャー	9,584	7,878	1,706
ソブリン向けエクスポージャー	1	-	1
金融機関等向けエクスポージャー	10	-	10
居住用不動産向けエクスポージャー	450	0	449
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	83	0	82
その他リテール向けエクスポージャー	325	113	212
PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー	13	-	13
合 計	10,469	7,993	2,476

(単位: 百万円)

資産区分	2020年度			(参 考)
	a.損失額の推計値 (期初)	b.損失額の実績値 (期末)	対 比 (a-b)	
事業法人向けエクスポージャー	8,824	8,610	214	9,176
ソブリン向けエクスポージャー	1	-	1	1
金融機関等向けエクスポージャー	10	-	10	11
居住用不動産向けエクスポージャー	449	0	448	548
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	79	0	78	65
その他リテール向けエクスポージャー	352	119	232	336
PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー	12	-	12	12
合 計	9,729	8,732	997	10,151

- (注) 1. 損失額の推計値は、内部格付手法により信用リスク・アセットの額を算出した際の1年間の期待損失額です。
2. 損失額の実績値は、上記(7)の中間期末時点の損失の実績値を記載しております。

3. 信用リスク削減手法に関する事項

信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャーの額(第10条第4項第3号イ・ロ)

(単位: 百万円)

項 目	2019年度中間期			
	適格金融 資産担保	適格資産 担保	保 証	クレジット・ デリバティブ
標準的手法が適用されるポートフォリオ	-	-	-	-
基礎的內部格付手法が適用されるポートフォリオ	15,322	170,533	76,450	-
事業法人向けエクスポージャー	15,322	170,533	67,136	-
ソブリン向けエクスポージャー	-	-	4,162	-
金融機関等向けエクスポージャー	-	-	-	-
居住用不動産向けエクスポージャー	-	-	283	-
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	-	-	448	-
その他リテール向けエクスポージャー	-	-	4,419	-
合 計	15,322	170,533	76,450	-

(単位: 百万円)

項 目	2020年度中間期			
	適格金融 資産担保	適格資産 担保	保 証	クレジット・ デリバティブ
標準的手法が適用されるポートフォリオ	-	-	-	-
基礎的內部格付手法が適用されるポートフォリオ	14,438	178,482	97,083	-
事業法人向けエクスポージャー	14,438	178,482	89,624	-
ソブリン向けエクスポージャー	-	-	4,052	-
金融機関等向けエクスポージャー	-	-	-	-
居住用不動産向けエクスポージャー	-	-	220	-
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	-	-	354	-
その他リテール向けエクスポージャー	-	-	2,832	-
合 計	14,438	178,482	97,083	-

- (注) 1. エクスポージャーの額については、信用リスク削減手法の効果は勘案された額を記載しております。なお、ボラティリティ調整率によるエクスポージャーの額の上方向調整を行っている場合は、当該上方向調整額に相当する額を減額した額を記載しております。
2. 「適格金融資産担保」とは、自行預金、国債、上場株式等に設定した担保です。
3. 「適格資産担保」とは、不動産、船舶等に設定した担保です。
4. 貸出金と自行預金の相殺は含んでおりません。

4. 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

(1) 与信相当額の算出に用いる方式(第10条第4項第4号イ)
カレント・エクスポージャー方式により算出しております。

(2) 与信相当額等(第10条第4項第4号ロ・ハ・ニ・ヘ)

(単位: 百万円)

項 目	2019年度中間期	2020年度中間期
グロス再構築コストの額	1,131	1,256
ネットティング効果及び担保による信用リスク削減手法の効果を実施する前の与信相当額	2,604	2,994
派生商品取引	2,604	2,994
外国為替関連取引及び金関連取引	2,555	2,648
金利関連取引	49	345
株式関連取引	-	-
貴金属関連取引(金関連取引を除く)	-	-
その他のコモディティ関連取引	-	-
クレジット・デリバティブ	-	-
長期決済期間取引	-	-
ネットティング効果勘案額(△)	-	-
ネットティング効果勘案後で担保による信用リスク削減手法の効果を実施する前の与信相当額	2,604	2,994
担保による与信相当額の減少額(△)	-	-
ネットティング効果及び担保による信用リスク削減手法の効果を実施後の与信相当額	2,604	2,994

- (注) 1. 原契約期間が5営業日以内の外国為替関連取引の与信相当額は上記の記載から除いております。ただし、CSA契約の対象となる取引については、原契約期間が5営業日以内の外国為替関連取引も与信相当額に含めております。
2. 清算機関との間で成立している派生商品取引で、日々の値直しにより担保で保全されているものについては、上記の記載から除いております。
3. グロス再構築コストの額は零を下回らないものを合計して記載しております。
4. 内部格付手法においては、担保による信用リスク削減効果をLGDで勘案するため、担保勘案前と担保勘案後の与信相当額は同額となります。

(3) 信用リスク削減手法に用いた担保の種類別の金額(第10条第4項第4号ホ)

(単位: 百万円)

担保の種類	2019年度中間期	2020年度中間期
適格金融資産担保	-	-
適格資産担保	-	-
合 計	-	-

- (注) 1. 「担保の種類別の金額」は、ボラティリティ調整前の金額を記載しております。
2. 「適格資産担保」とは、不動産、船舶等に設定した担保です。
3. 「適格金融資産担保」とは、自行預金、国債、上場株式等に設定した担保です。

- (4) 与信相当額算出の対象となるクレジット・デリバティブの想定元本（第10条第4項第4号ト）
クレジット・デリバティブについては、該当がありません。
- (5) 信用リスク削減手法の効果を勘案するために用いているクレジット・デリバティブの想定元本（第10条第4項第4号チ）
クレジット・デリバティブについては、該当がありません。

5. 証券化エクスポージャーに関する事項

- (1) 銀行がオリジネーターである場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項（第10条第4項第5号イ）
銀行がオリジネーターである証券化エクスポージャーについては、該当がありません。
- (2) 銀行が投資家である場合における証券化エクスポージャーに関する事項（第10条第4項第5号ロ）
①保有する証券化エクスポージャー及び再証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳（第10条第4項第5号ロ（1））

【オン・バランス取引】 (単位：百万円)

主な原資産の種類	2019年度中間期		2020年度中間期	
	残高	うち再証券化	残高	うち再証券化
住宅ローン債権	-	-	-	-
自動車ローン債権	-	-	-	-
小口消費者ローン債権	-	-	-	-
クレジットカード与信	-	-	-	-
リース債権	-	-	-	-
事業資産	16	-	16	-
不動産	-	-	-	-
不動産を除く有形資産	-	-	-	-
事業者向け貸出	-	-	850	-
売上債権	-	-	-	-
その他の資産	-	-	-	-
合計	16	-	867	-

【オフ・バランス取引】 (単位：百万円)

主な原資産の種類	2019年度中間期		2020年度中間期	
	残高	うち再証券化	残高	うち再証券化
住宅ローン債権	-	-	-	-
自動車ローン債権	-	-	-	-
小口消費者ローン債権	-	-	-	-
クレジットカード与信	-	-	-	-
リース債権	-	-	-	-
事業資産	-	-	-	-
不動産	-	-	-	-
不動産を除く有形資産	-	-	-	-
事業者向け貸出	-	-	-	-
売上債権	-	-	-	-
その他の資産	-	-	-	-
合計	-	-	-	-

- ②保有する証券化エクスポージャー及び再証券化エクスポージャーのリスク・ウェイト区分ごとの残高及び所要自己資本の額（第10条第4項第5号ロ（2））

【オン・バランス取引】 (単位：百万円)

リスク・ウェイト	2019年度中間期			
	残高	所要自己資本	うち再証券化	所要自己資本
20%以下	-	-	-	-
20%超50%以下	-	-	-	-
50%超100%以下	-	-	-	-
100%超250%以下	-	-	-	-
250%超650%以下	-	-	-	-
650%超1250%未満	-	-	-	-
1250%	16	8	-	-
合計	16	8	-	-

(単位：百万円)

リスク・ウェイト	2020年度中間期			
	残高	所要自己資本	うち再証券化	所要自己資本
20%以下	850	10	-	-
20%超50%以下	-	-	-	-
50%超100%以下	-	-	-	-
100%超250%以下	-	-	-	-
250%超650%以下	-	-	-	-
650%超1250%未満	-	-	-	-
1250%	16	8	-	-
合計	867	18	-	-

【オフ・バランス取引】

(単位：百万円)

リスク・ウェイト	2019年度中間期			
	残高	所要自己資本	うち再証券化	所要自己資本
20%以下	-	-	-	-
20%超50%以下	-	-	-	-
50%超100%以下	-	-	-	-
100%超250%以下	-	-	-	-
250%超650%以下	-	-	-	-
650%超1250%未満	-	-	-	-
1250%	-	-	-	-
合計	-	-	-	-

(単位：百万円)

リスク・ウェイト	2020年度中間期			
	残高	所要自己資本	うち再証券化	所要自己資本
20%以下	-	-	-	-
20%超50%以下	-	-	-	-
50%超100%以下	-	-	-	-
100%超250%以下	-	-	-	-
250%超650%以下	-	-	-	-
650%超1250%未満	-	-	-	-
1250%	-	-	-	-
合計	-	-	-	-

- ③自己資本比率告示第248条並びに第248条の4第1項第1号及び第2号の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳（第10条第4項第5号ロ（3））

(単位：百万円)

主な原資産の種類	2019年度中間期	2020年度中間期
住宅ローン債権	-	-
自動車ローン債権	-	-
小口消費者ローン債権	-	-
クレジットカード与信	-	-
リース債権	-	-
事業資産	16	16
不動産	-	-
不動産を除く有形資産	-	-
事業者向け貸出	-	-
売上債権	-	-
その他の資産	-	-
合計	16	16

- ④保有する再証券化エクスポージャーに対する信用リスク削減手法の適用の有無及び保証人ごと又は当該保証人に適用されるリスク・ウェイトの区分ごとの内訳（第10条第4項第5号ロ（4））
保有する再証券化エクスポージャーに対する信用リスク削減手法の適用については、該当がありません。

- (3) 銀行がオリジネーターである場合におけるマーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項（第10条第4項第5号ハ）
マーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャーについては、該当がありません。
- (4) 銀行が投資家である場合におけるマーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項（第10条第4項第5号ニ）
マーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャーについては、該当がありません。

6. 銀行勘定における株式等エクスポージャーに関する事項

- (1) 中間貸借対照表計上額及び時価（第10条第4項第7号イ）

(単位：百万円)

種類	2019年度中間期		2020年度中間期	
	中間貸借対照表計上額	時価	中間貸借対照表計上額	時価
上場している株式等エクスポージャー	26,099	-	25,203	-
上記に該当しない株式等エクスポージャー	721	-	676	-
合計	26,820	26,820	25,880	25,880

上記のうち、子会社・関連会社株式の中間貸借対照表計上額 (単位：百万円)

種類	2019年度中間期	2020年度中間期
子会社・子法人等	-	-
関連法人等	-	-
合計	-	-

(注) 1. 投資信託等の複数の資産を裏付とする資産(所謂ファンド)に含まれている株式等エクスポージャーについては、上表には記載していません。
2. 上記に該当しない株式等エクスポージャーには、ゴルフ会員権等を含めて記載していません。

(2) 株式等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額 (第10条第4項第7号ロ)

(単位：百万円)

種類	2019年度中間期	2020年度中間期
売却損益の額	-	738
償却の額	-	4

(注) 投資信託等の複数の資産を裏付とする資産(所謂ファンド)に含まれている株式等エクスポージャーに係る売却及び償却に伴う損益の額については、上表には記載していません。

(3) 中間貸借対照表で認識され、かつ、中間損益計算書で認識されない評価損益の額 (第10条第4項第7号ハ)

(単位：百万円)

種類	2019年度中間期			2020年度中間期		
	取得原価	時価	評価損益	取得原価	時価	評価損益
其他有価証券	10,077	26,820	16,743	9,447	25,880	16,433

(注) 投資信託等の複数の資産を裏付とする資産(所謂ファンド)に含まれている株式等エクスポージャーに係る評価損益の額については、上表には記載していません。

(4) 中間貸借対照表及び中間損益計算書で認識されない評価損益の額 (第10条第4項第7号ニ)
該当ありません。

(5) 株式等エクスポージャーのポートフォリオの区分ごとの額 (第10条第4項第7号ホ)

(単位：百万円)

区分	2019年度中間期	2020年度中間期
マーケット・ベース方式 (簡易手法)	0	0
マーケット・ベース方式 (内部モデル手法)	-	-
PD/LGD方式	10,077	9,447
合計	10,077	9,447

(注) 投資信託等の複数の資産を裏付とする資産(所謂ファンド)に含まれている株式等エクスポージャーについては、上表には記載していません。

7. リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーの額 (第10条第4項第8号)

(単位：百万円)

算出方式	2019年度中間期	2020年度中間期
自己資本比率告示第167条第2項の規定により信用リスク・アセットの額を算出するエクスポージャー	129	160
自己資本比率告示第167条第7項の規定により信用リスク・アセットの額を算出するエクスポージャー	199	140
自己資本比率告示第167条第10項第1号に定めるリスク・ウェイトを用いて信用リスク・アセットの額を算出するエクスポージャー	-	-
自己資本比率告示第167条第10項第2号に定めるリスク・ウェイトを用いて信用リスク・アセットの額を算出するエクスポージャー	-	-
自己資本比率告示第167条第11項の規定により信用リスク・アセットの額を算出するエクスポージャー	-	-
合計額	328	301

8. 金利リスクに関する事項 (第10条第4項第9号)

(1) ΔEVE、ΔNII

(単位：百万円)

IRRBB1：金利リスク					
項番		ΔEVE		ΔNII	
		当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末
1	上方パラレルシフト	18,877	17,967	1,905	-
2	下方パラレルシフト	56	62	△2,280	-
3	スティープ化	14,703	14,943	-	-
4	フラット化	-	-	-	-
5	短期金利上昇	-	-	-	-
6	短期金利低下	-	-	-	-
7	最大値	18,877	17,967	1,905	-
		ホ		ハ	
		当中間期末		前中間期末	
8	自己資本の額	84,715		81,649	

(注) 1. 流動性預金の金利リスクについては、コア預金モデルによる測定方法を採用しております。(コア預金とは、明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される預金のうち、引き出されることなく長期間銀行に滞留する預金です)
2. 貸出の期限前償還率、定期預金の早期解約率については、金融庁が定める保守的な前提を使用しております。
3. ΔEVEの集計にあたっては通貨間の相関は考慮せず、正の値のもののみを、単純合算しております。ΔNIIの集計にあたっては通貨間の相関は考慮せず、値の正負に関係なく、単純合算しております。
4. ΔEVEの算出にあたっては、有価証券の経済価値の算出に用いる割引金利については信用スプレッド等を含めております。有価証券以外の経済価値の算出に用いる割引金利については信用スプレッド等を含めておりません。
5. ΔNIIの算出にあたっては、再投資・再調達金利について、信用スプレッド等を含めておりません。

(2) VaR (バリュー・アット・リスク)

項目	2019年度中間期
金利リスクのVaR	8,656百万円
うち円金利	8,651百万円
うち他通貨金利	11百万円
信頼区間	99.9%
保有期間	3ヵ月

項目	2020年度中間期
金利リスクのVaR	13,045百万円
うち円金利	13,025百万円
うち他通貨金利	27百万円
信頼区間	99.9%
保有期間	3ヵ月

(注) 1. 流動性預金の金利リスクについては、コア預金モデルによる測定方法を採用しております。(コア預金とは、明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される預金のうち、引き出されることなく長期間銀行に滞留する預金です)
2. 米ドル及びユーロ以外の他通貨については、影響が軽微なことから200BPVにより測定しております。
3. なお、2020年度の金利リスク合計については、円金利と他通貨金利の相関係数を2019年度の0.50から0.75に変更して測定しております。